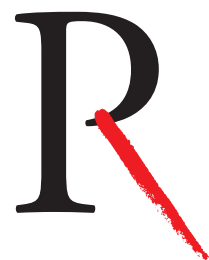


# PRプランナー会員 入会案内

PRプランナー会員（旧：個人賛助会員C）のご入会を希望される方は、  
本書に記載しております内容をお読みの上、お申込み手続きをお願いいたします。



# PRプランナー会員 入会案内

## PRプランナー会員について

PRプランナー会員(旧:個人賛助会員C)とは、日本パブリックリレーションズ協会(略称:日本PR協会)が開催する「行事」、「講座」へのご参加、また定期刊行物をお受け取りになれる会員資格で、PRSJ 認定PRプランナー、准PRプランナー、もしくはPRプランナー補の資格を取得された方が、PRプランナー会員としてご入会できます。広報・PR活動に興味をお持ちの方、また、広報・PRの専門知識を深めたい方々のために、日本PR協会では、定期的に様々な活動を行っております。PRプランナー会員としてご入会されますと、それらの活動に会員料金にてご参加することが可能となります。さらに、PRプランナー資格試験やPRSJ 認定PRプランナー(准・補)の認定登録料、更新料も会員料金が適用されます。広報・PR活動の専門知識をより一層高めいただくためにも、皆様のご入会をお待ちいたしております。

## PRプランナー会員へのお申込方法

PRプランナー会員へのご入会申込は、下記手順にて随時承っております。

1. 「PRプランナー会員 入会申込書」のご請求  
PRプランナー資格制度ホームページ (<http://pr-shikaku.prsj.or.jp>) より、入会申込書をご請求ください。
2. 入会申込書送信  
入会申込書のご請求を完了されますと、1～2週間以内に入会申込書(PDF)をメールにて送付いたします。
3. 年会費のご入金・入会申込書のご送付  
年会費のご入金後、入会申込書に必要事項をご記入の上、日本PR協会事務局までご送付ください。
4. 入会登録・刊行物の発送  
入会申込書が届き次第、審査の上、入会登録をさせていただきます。入会登録完了後、約1週間以内に、日本PR協会発行の刊行物を発送いたします。  
審査および入会登録作業には、約1週間かかります。目安として入会申込書ご送付後2週間で、刊行物が発送されるとお考えください。

## PRプランナー会員の年会費

PRプランナー会員には、PRプランナー会員と学生PRプランナー会員がございます。  
年会費の詳細は、下記の通りです。

PRプランナー会員	年間：20,000円、下半期：10,000円(それぞれ消費税込)
学生PRプランナー会員	年間：10,000円、下半期：5,000円(それぞれ消費税込)

- ※学生PRプランナー会員の対象は、国、地方公共団体および学校法人が設置した学校(教育基本法第6条1、学校教育基本法第2条1、私立学校法第3条)で教育を受けている学生(社会人大学生を除く)となります。
- ※PRプランナー会員の会員資格の有効期間は、年間：4月1日から翌年の3月31日までの1年間、下半期：10月1日から翌年3月31日までの半年間となります。各年度の途中で入会されましたも、3月31日で会員資格の有効期限は切れまします。継続を希望される場合は、更新手続きが必要となりますので、予めご了承ください。
- ※上半期会員はございません。4月1日からの入会をご希望される場合は、年間でのお申込をお願いいたします。

## PRプランナー会員で参加できる行事・講座

- 全体行事・懇親会  
・日本PR協会 新年懇親会 ・親睦ゴルフ会 ・特別国際セミナー
- 講座関連(東京開催)  
・定例研究会(月1回ペース) ・広報PRアカデミー 各種講座
- 講座関連(関西開催)  
・定例会(月1回ペース) ・広報基礎講座(2日間) ・広報学校
- 部会活動  
・企業・PR業部会の主催行事 ・企業・PR業部会のサークル活動
- 発表会・表彰式  
・日本PR大賞「PRアワードグランプリ」(投票・聴講への参加)  
・日本PR大賞「PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」(推薦・投票・表彰式への参加)

※PRプランナー会員では、各委員会活動への参加権、選挙権・被選挙権・議決権はございませんので、予めご了承ください。  
※各種行事・講座はメールにて随時ご連絡いたします。(関西開催の行事・講座はホームページをご参照ください。)

<PRプランナー会員への定期刊行物>

- ・PR手帳 ・PR Yearbook ・協会ニュース(WE B)

※PR手帳(新年度版)は秋季発送予定ですが、前年度版も会員価格(別途送料)にてご購入いただけます。

## 2013年度活動実績（4月～12月）

	東京開催（行事・講座）	関西開催（行事・講座）
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別国際セミナー：日産グローバル・メディア・センター再訪</li> <li>・第147回 定例研究会 「心を揺さぶる感動を与える「ガイアの夜明け」の映像作り」</li> <li>・第10回 広報ゼミ（企業部会）「危機管理広報」</li> <li>・広報PRアカデミー：広報・PR基礎講座2013（3日間）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第222回 定例会「行政における戦略広報」</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第12回PRプランナー資格検定2次試験</li> <li>・異文化勉強会 駐日欧州連合（EU）代表部訪問</li> <li>・広報PRアカデミー：広報・PRプロジェクト最新事例セミナー</li> <li>・第148回 定例研究会 「日本経済新聞の企業取材の方向性、そして現場の記者に託していること」</li> <li>・第26回PRスキル研究会（PR業部会） 「情報流通構造とコンテキストで考えるPR」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第12回PRプランナー資格検定2次試験</li> <li>・第223回 定例会「広告は記事を抑えられるか」</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報PRアカデミー：3次試験対応講座（6日間）</li> <li>・特別国際セミナー：ブルームバーグ東京支局のセミナーと見学会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報基礎講座（2日間）</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第149回 定例研究会 「徹底的な取材で真相を描く『週刊ダイヤモンド』の編集方針」</li> <li>・広報PRアカデミー：1次試験対応講座（4日間）</li> <li>・なでしこカウンスル（女性会員限定セミナー）</li> <li>・第8回 広報活動研究会（企業部会）キリン株式会社 訪問</li> <li>・会員納涼懇親会</li> <li>・第12回PRプランナー資格検定3次試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第224回 定例会「水都・大阪の展望」</li> <li>・第12回PRプランナー資格検定3次試験</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第13回PRプランナー資格検定1次試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拡大関西広報ゼミ「テレビ報道が取材しなくなるリリースとは」</li> <li>・第13回PRプランナー資格検定1次試験</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報PRアカデミー：プレスリリースの最新活用法、マーケティングPR強化講座（基礎編・応用編）</li> <li>・特別国際セミナー「日本企業に期待される情報発信力」</li> <li>・第9回 企業部会フォーラム（企業部会） 「朝日新聞社のデジタル戦略、米国最新デジタル事業について」</li> <li>・海外研修ツアー 米国研修旅行</li> <li>・第150回 定例研究会 「カンヌライオンズ2013」にみる戦略PRのエッセンス」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第225回 定例会「広報担当者の立ち位置と基本の心構え」</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第27回PRスキル研究会（PR業部会） 「ネットでウケるもの～PR担当者が知るべき“ネットの文脈”」</li> <li>・第12回 広報ゼミ（企業部会）「マーケティング広報」</li> <li>・第151回 定例研究会「NHK経済報道の目指すもの」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第226回 定例会「ピーチ さらなる挑戦」</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動研究会（企業部会）江崎グリコ グリコピア・イースト訪問</li> <li>・広報PRアカデミー：プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ 「コーポレート・コミュニケーションの概念と戦略的推進のための組織の構築」</li> <li>・第152回 定例研究会「『東洋経済オンライン』の野心的挑戦」</li> <li>・第13回PRプランナー資格検定2次試験</li> <li>・異文化勉強会 駐日本国大韓民国大使館訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第13回PRプランナー資格検定2次試験</li> <li>・第26回 広報学校（2日間）</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第153回 定例研究会「紙面とデジタルの融合を目指す毎日新聞の新展開」</li> <li>・広報PRアカデミー：プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ 「危機管理の心構えとクライシス・コミュニケーション」</li> <li>・PR業経営者懇親会（PR業部会）</li> <li>・第28回PRスキル研究会（PR業部会） 「世界中の評判が見える“ネット社会”におけるオープンPRとメディアのメカニズム」</li> <li>・広報PRアカデミー：3次試験対応講座（6日間）</li> <li>・第13回 広報ゼミ（企業部会）「少人数広報」</li> </ul>	

※企業部会、PR業部会主催行事は、各部会に所属されている方のみご参加になれます。

## 2013 年度活動実績(1月～3月)

	東京開催 (行事・講座)	関西開催 (行事・講座)
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 25 年 広告界合同年賀会</li> <li>・第 10 回 企業部会フォーラム (企業部会) 「20 周年を迎えた J リーグの広報戦略」</li> <li>・第 13 回 P R プランナー資格検定 3 次試験</li> <li>・新春 P R フェスタ 2014 新春 P R フォーラム・新年懇親会</li> <li>・広報 P R アカデミー：1 次試験対応講座 (4 日間)</li> <li>・広報 P R アカデミー：プロフェッショナル広報・P R 実務シリーズ 「C S R を基軸とする企業と社会の新しい関係」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新春放談会と新年互礼会</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国研修報告・シンポジウム</li> <li>・第 14 回 広報ゼミ (企業部会)「広報効果測定と目標管理」</li> <li>・第 2 回 なでしこカウンスル (女性会員限定セミナー)</li> <li>・第 154 回 定例研究会「航空自衛隊の広報戦略」</li> <li>・広報 P R アカデミー：プロフェッショナル広報・P R 実務シリーズ 「コンセプト・ブランディング～ブランド構築に向けた新たな戦略的アプローチ～」</li> </ul>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 14 回 P R プランナー資格検定 1 次試験</li> <li>・第 15 回 広報ゼミ (企業部会)「危機管理広報」</li> <li>・広報 P R アカデミー：広報・P R プロジェクト優秀事例セミナー</li> <li>・異文化勉強会 在日カナダ大使館訪問</li> <li>・P R パーソン ミーティング 2014 (P R 業部会)</li> <li>・第 155 回 定例研究会「記者の目から見た企業不祥事・経営危機」</li> <li>・広報 P R アカデミー：プロフェッショナル広報・P R 実務シリーズ 「グループ内におけるグローバル・コミュニケーション戦略」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 14 回 P R プランナー資格検定 1 次試験</li> <li>・第 229 回 定例会「報道写真の現場」</li> </ul>

※企業部会、P R 業部会主催行事は、各部会に所属されている方のみご参加になれます。

### — P R プランナー会員に際しての注意事項 —

P R プランナー会員の入会申込に際して、下記注意事項をご確認ください。

なお、本注意事項の内容は、変更することがございますので、ご利用の際にはホームページに掲載されております最新の注意事項をご参照ください。また、会員サービスのご利用に際しての注意事項につきましては、それぞれの講座・セミナー等のご案内をご確認ください。

1. P R プランナー会員の会員登録は、複数の会員登録をされたり、会員サービスの提供を受ける権利を第三者に譲渡したりすることはできません。
2. P R プランナー会員登録情報および日本 P R 協会事務局が取得した申請者に関する情報は、日本 P R 協会の個人情報保護に関する指針に従って取り扱われます。日本 P R 協会の個人情報保護に関する指針は次頁をご参照ください。
3. 住所、その他日本 P R 協会の届出内容に変更があった場合には、速やかに日本 P R 協会に所定の方法(書面の提出、オンライン上の送信)で変更の届出をお願いいたします。
4. 退会する場合は、所定の方法(書面の提出、オンライン上の送信等)にて日本 P R 協会に届け出てください。なお、会費の払い戻し等はいたしませんので、予めご了承ください。
5. 会員サービスに提供されている内容は、著作権法、商標法、意匠法等により保護されています。日本 P R 協会の文書による承諾を受けた場合を除いて、その内容(一部あるいは全部を問わず)を複製、公開、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳、翻案、使用許諾、転載、再利用することはできませんので、予めご了承ください。
6. 法令に違反したり、倫理的観点などから問題のある行為を行った場合は、退会をお願いする場合がありますので、予めご了承ください。

その他、ご不明な点等ございましたら、下記事務局までご連絡ください。

———お問い合わせ———

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-3 1 六本木ヒルズノースタワー 5 F

【TEL】 03(5413)6760 【FAX】 03(5413)2147 【E-mail】 mail@prsj.or.jp 【URL】 <http://www.prsj.or.jp>

# —パブリックリレーションズ活動における個人情報保護について—

協会では、下記の指針を作成し、会員各社のPR活動における法遵守に努めています。

## パブリックリレーションズ活動における個人情報保護に関する指針

本指針は、公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会(以下、「本協会」という)の会員が行うパブリックリレーションズ活動における個人情報の取扱いに当たって遵守すべき基本方針・基本原則を示し、国内外の個人情報の適切な保護を行うことを目的としたものである。

### 1. 個人情報保護の基本方針

#### (1) 協会理念

本協会は、パブリックリレーションズ活動における法令、企業倫理遵守の立場から、個人情報保護法に対しても、協会の「綱領」にて宣言している「個人の尊厳と名誉の尊重に深甚なる配慮をもって行動する」や「他に不利益や損害を与えるような行動をしない」の理念をもって臨むこととする。

#### (2) 個人情報保護の基本方針

本協会及び会員は、個人情報保護の重要性を認識し、パブリックリレーションズ活動においてお預かりする個人情報に関して法令、規則、社内ルールを遵守し、適切に保護し取扱うものとする。

#### (3) 会員各社への浸透

本協会は、個人情報保護に関する認識の浸透のために、会員各社に対して適時有益な情報を提供するものとする。

#### (4) 継続的な取り組みによる改善

本協会は、本指針を個人情報保護に対する基本方針・基本原則として、今後、会員への情報提供、対応促進、研究等、個人情報保護に継続的に取り組み改善していくものとする。

### 2. パブリックリレーションズ活動で主に取扱う個人情報

本協会は、パブリックリレーションズ活動で主に取扱う個人情報を以下に分類する。

- (1) 募集企画やキャンペーン等によって得た、個人を特定できる情報
- (2) 各種調査によって得た、個人を特定できる情報
- (3) 会員組織を運営することにより得た個人情報
- (4) その他パブリックリレーションズ活動によって得た、個人を特定できる情報
- (5) お得意先、媒体社、外部委託先から預託される個人を特定できる情報
- (6) 本協会に関係する会員等の個人情報、及び協会活動によって得た個人を特定できる情報

### 3. 個人情報保護の基本原則

本協会は、会員各社に対して次に掲げる個人情報保護の基本原則を遵守することを求めるものとする。

#### (1) 関連法規等の遵守

会員各社は、個人情報に関する法令、規則、契約、社内ルールを遵守するものとする。

#### (2) 個人情報の適正な取得と利用

会員各社は、個人情報の取得にあたっては、あらかじめその収集・利用および第三者へ提供する場合の目的や範囲、および開示／訂正／削除を請求できること、ならびに利用または提供を拒否できることを説明し、同意を得た上で取扱うものとする。

#### (3) 個人情報の管理と保護

会員各社は、個人情報に対する不正アクセス、紛失、破壊、改ざん、漏えいなどを防止するために、組織面および技術面から合理的な個人情報の管理と保護についての安全対策を講ずるものとする。

#### (4) 業務を外部に委託する際の安全性の確保

会員各社は、個人情報の処理を外部に委託する場合には、社内ルールに則り個人情報に関して安全性を含めた適切な取扱いが確保されると確認された外部委託先を選定して委託し、委託先に対して適切な監督を実施するものとする。